

【30年豪雨災害の復旧工事が本格化】

30年7月と9月の豪雨で被災した京都府が管理する道路や河川の早期復旧を要望してきましたが、道路については、一部で現在も工事中のところがあるものの、全箇所が本年度内に完了する目途がつかえました。

しかし、河川については被災した箇所多く、また、増水期の夏場には工事が出来ないこともあって遅れていましたが、ようやくにして千ヶ畑川流域の護岸崩落を復旧実施願うこととなりました。

千ヶ畑の集落から広野の大路路川合流までの約2^{km}の間に40箇所を超える被災があるため、三工区に分けて今年中に集中して復旧工事を進めています。



工事実施に伴い、多数の関係車両が行き来しますので、付近を通行される場合には十分に気をつけてください。

ご迷惑をかけますが、ご理解・ご協力をお願いします。

